

果樹の剪定 (クリ)

12月の農作業

剪定時期

冬期剪定の時期は、晩秋から発芽までの間（11月～2月頃）。落葉果樹は葉が落ちれば剪定できます。常緑果樹の中でも特に耐寒性の弱いものは、3月に入って寒さの心配がなくなってから行います。剪定の早過ぎ、遅れは養分の損失などがおこるので注意しましょう。

剪定の目的

- 毎年安定して品質の良い果実を取る。
- 栽培管理をしやすくする。
- 病害虫の発生を少なくする。
- 樹形・樹勢・果実の調節。

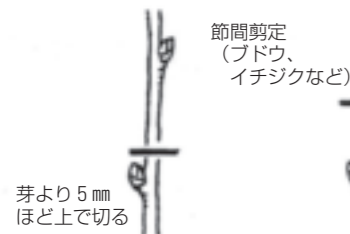
剪定のポイント

- まんべんなく日光が当たるようにする。
- 太い枝は最小限に。一目見て主枝、垂主枝がわかるように行いましょう。
- ノコギリ → ハサミ → トップジンMペーストの順に使う。

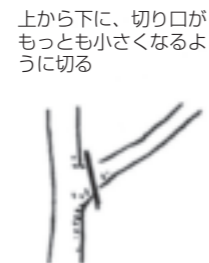
枝の切り方

- ① 切り返し剪定…枝の途中（分岐点以外）で切る。
※切り返し剪定ばかりだと樹が強くなりすぎ、果実がならないときがあります。
- ② 間引き剪定…枝の分岐の根元から切る。
※間引き剪定ばかりだと樹が弱ってしまいます。

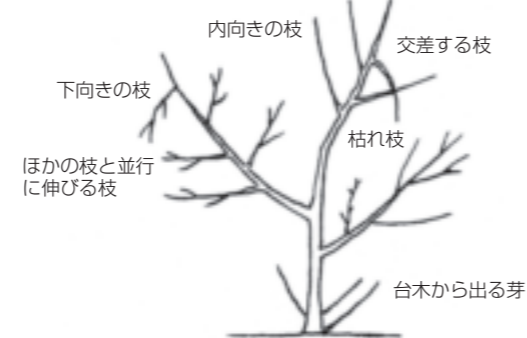
細い枝を切る



太い枝を切る



剪定するとき除去したい枝



クリの剪定

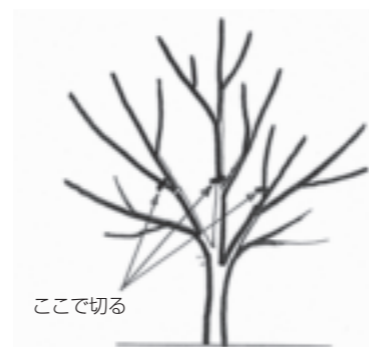
●クリの剪定について

剪定時期

- 12月～2月

剪定

- クリは高木になる傾向があり、日当たりが悪いと木が枯れやすいので枝と枝が重ならないようにする。
- 間引き剪定を行い、実のつく枝を確保するとともに、全体に日射が行きわたるようにする。
- 年数の経った木にはやや強い切り返し剪定をする。中心の幹を切り、2～3本仕立てにする。



裏面は果樹の剪定(キウイ・カキ)を掲載しています。

農作業のページは取りはずして別に保存し活用してください。

No.248 平成23年12月13日発行

果樹の剪定 (キウイ・カキ)

12月の農作業

キウイの整枝剪定

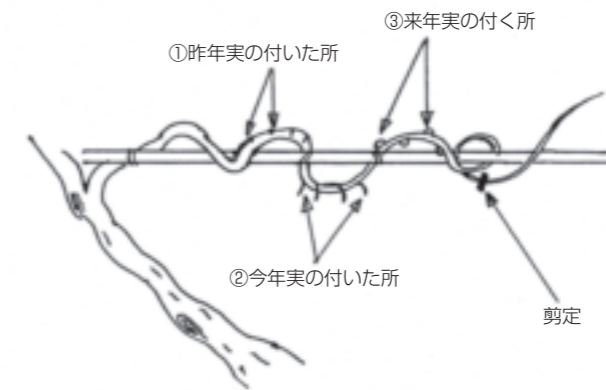
●キウイの整枝剪定について

剪定時期

- 12月上旬～2月上旬（なるべく1月までに剪定を済ませる。）

剪定

- キウイは一度実が付いた場所からは発芽しないので、その場所（前回実が付いた枝）より先の芽（2～5芽）を残して切り戻す。
- 実が付いた部分の先が伸びていくので2～3年経ったら、枝は付け根から切り新たな枝を伸ばし、その枝に結実させる。
- 実が付かなかった枝は、先端を少し切り詰めるか、5～8芽残して切る。
- 先端がつる状になっていれば、つる状の部分の切り戻し、混んだ枝は間引く。



カキの剪定

●カキの剪定について

剪定時期

- 12月～3月中旬

剪定

- カキはまっすぐ上に伸びようとする性質があり、一般的には3本仕立て（自然な形）にする。
- 主枝の本数は3本とし、カキの枝は中心から裂けやすいので主枝候補枝には、上に伸びた強い枝を選ぶ。
- 垂主枝は、1本の主枝上に2本仕立てにする。
- 側枝、実が付く枝の配置としては、主枝、垂主枝上の側枝はできるだけ重ならないように配置する。
- 実が付く枝は、太さや長さの揃ったよい形質のものを残す。
- 今年はカキの生り年にあたり、来年の生り枝は少なくなるので剪定は控えめに行う。



裏面は果樹の剪定(クリ)を掲載しています。

農作業のページは取りはずして別に保存し活用してください。

No.248 平成23年12月13日発行